

私たちの未来は どうなる！

薩摩中で市町村合併説明会

薩摩中三年生は、市町村合併について詳しく知ろうと12月9日、「総合的な学習の時間」を利用して市町村合併説明会を開きました。

同説明会では、役場の山下彦志総務課長、羽有郁夫合併対策係長が講師となり生徒47名が、「合併の必要性」、「新町建設計画」、「各町間の調整項目の進行状況」などについてパソコンによるプレゼンテーション（企画案の説明）と、山下総務課長から現在までの状況について説明を受けました。

生徒は、合併が自分たちの将来に大きく影響し、また大変身近な話題であることなどを学んだようでした。

生徒からは「公共施設は今後どうなっていくのか？」「郵便番号、電話番号は変わるのか？」「住居表示はどうなるのか？」など質問も多く出され、市町村合併について一層理解が深まったようでした。

鬼もびっくり！今年1年も無病息災で 各集落で鬼火たき

1月上旬、町内の各集落では鹿児島県の伝統行事「鬼火たき」が開催されました。

「鬼火たき」の燃え上がる炎や青竹の弾ける大きな音は鬼を追い払い、この火で餅を焼いて食べると病気にかからないと言い伝えられています。

写真は戸子田集落の「鬼火たき」で、12月29日に子ども会を中心に製作。格子



▲「戸子田集落」の鬼火たき

状に組まれたやぐらは縦横5m、高さは12mほどもあり正月に飾った門松なども投げ入れられました。

1月4日夕方に、今年の年男と年女の小学生3名が点火すると、炎は勢いよく燃え上がり、弾ける竹の音に子どもたちの歓声が響いていました。

▶これまでの合併の進行状況に聞き入る生徒たち



河川愛護運動優良団体 知事表彰に 下狩宿自治公民館

12月19日、宮之城土木事務所ので平成15年度河川愛護運動優良団体表彰伝達式があり、下狩宿自治公民館が知事表彰を受けました。

これは、毎年地区内を流れる浦川内川の年2回の河川清掃（伐採作業）や稚魚の放流などが評価されたものです。

表彰式では、中尾常一館長に宮之城土木事務所の内山一

則河川砂防課長から賞状が伝達されました。



▶中尾館長（左）と内山河川砂防課長

すら歩きました。そして理科室に行く顔がありました。が、暗闇で見るとさすがに不気味で、後はダッシュして帰りました。とにかく迫力があつて楽しかったです。

他にもキャンプファイヤーがありました。ぼくは子犬でした。学校キャンプの日にいきなりしゃべる言葉を配られました。僕は一生懸命覚えしました。覚えきれず紙を見てしまったけどうまく言えました。

火を見ながら自分のことを考えるのは心にジーンときて感動しました。学校キャンプをやつて料理も、みんなと一緒に寝たこともすべて忘れられない思い出です。

学校キャンプを通して、自分達で計画し、実行し、協力をすればすばらしい思い出ができる事がものすごく分かりました。これから先も、いろいろな行事がたくさんあるからその時はなるべく自分達で協力し計画を立てたいです。それに学校生活でも自分たちで考え協力して何事にも進んでがんばります。